

事業所名

MIRAIKU

支援プログラム

作成日

2026年

3月

12日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの個性を未来へと繋ぐ架け橋となる。 ・専門性を活かし安心を届け社会に貢献する。 ・利他の心をもってお互いの信頼関係を築く。 				
支援方針	ドローン・サイエンス・社会貢献活動を通して、個々のスキルアップだけでなく社会性や協調性も育む。				
営業時間	9時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無 (あり) なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	自分で使用した物を、時間が来たら自分で後片付けをすることができる。 それに加えて、時間が来る前に後片付けを行い、次の活動のための準備ができるよう進めていく。 サイエンスやドローンなどの時間が有限な諸活動を通し、次の活動を意識した行動を取ることができる。			
	運動・感覚	目的とする運動や作業を手助けされながら行い、達成できる。 それに加えて、目的とする運動や作業で手助けが必要な時、自ら助けを求め、達成できるよう進めていく。 ドローンの操作を通して指先の巧緻性や空間把握力を育む。			
	認知・行動	タイマーによる音刺激や職員からの声掛けに加え、その日のタイムスケジュールの確認を促し、場面の切り替えが出来るようになる。 それに加えて、通所後に自らスケジュールを確認し、時間になったら主体的に切り替えができる様に進めていく。 サイエンスの実験やドログラミングなどの療育ツールを活かし、目標達成のための見通しを立てる力を育む。 自分でやりたいことを見つけ、1つのことをやり遂げることで達成感を味わう。			
	言語 コミュニケーション	サイエンスで教材を読み理解することで読解力と語彙を養い、自分の考えや知識を発表することで伝える力、表現力を育む。 ドローンの取り組み後に振り返りシートを記入することでその日の取り組みを振り返り、表現しまとめる力を養う。 言葉で自分の気持ちを場面に応じた伝え方で相手に伝達をすることができる。 他者と関わりながら自分の思いを表現できる。			
	人間関係 社会性	職員立ち会いのもと短い時間でクールダウンができた上で、他者との適切な距離を保ちながら関わる事ができる。 地域交流を通して他者理解を意識を深め、行動する力を育む。 サイエンスやイベントなどのグループワークを通し、他者への思いやりや協調性を養う。			
家族支援	保護者面談や日々の送迎やメールで困り事や気になる事を聞き出し、解決できる提案を行っている。	移行支援	学校、関係機関との連携		
地域支援・地域連携	社会貢献活動（パントリーなど地域との交流を通して、子ども達の地域に貢献する喜びを体験する活動し主体性を伸ばす。）	職員の質の向上	外部講師をお招きして、職員力量向上の研修を行っている。		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・合同イベント（別事業所と一緒にイベントを行い、社会性やコミュニケーション能力を育む。） ・外出イベント（月に一回運動を入れたり、トランポリン・釣り体験や科学館などの活動をする。） ・所内イベント（水・電気・宇宙のようなテーマに沿ったサイエンスに関するイベントを中心に活動する。） 				